

平成30年度 21世紀土地改良区創造運動さなえ賞

都道府県名	山形県	ふり が な 水土里ネット名	水土里ネット東置賜郡二井宿 <small>ひがしおきたまぐん に いじゆく</small>
水土里ネットの概要			
① 受益面積： 79.1ha (水田 74.8ha、畑 3.4ha、他 0.9ha)			
② 組合員数： 152名			
③ 役職員数：役員 10名			
水土里ネットにおける運動の概要			
<p>・運動への取り組みの経緯、きっかけ</p> <p>水土里ネット東置賜郡二井宿は、山形県東置賜郡高島町の北東部に位置し、屋代川・小湯川沿いに展開する79.1haの水田地帯である。北側に山形県上山市、南側に米沢市、東側に宮城県(七ヶ宿町)との県境にそれぞれ隣接し、小湯山と貝吹山に囲まれた山間地域となっている。</p> <p>当地域は「まほろば」とも呼ばれ、これは古事記などにしばしばみられる「まほら」という古語に由来する言葉で「丘、山に囲まれた稔り豊かな住みよいところ」という意味を持っている。奥羽の山なみ深くに源流をもつ屋代川沿いに拓けた稔り豊かな稲作地域であり、山々や丘陵には貴重な古墳や洞窟岩陰群が点在し、東北の高天原と言われている。</p> <p>地域の農地は、屋代川より7堰(久保堰、宮下堰、筋堰、静田堰、大畑堰、上駄子町堰、大柳積)にて取水し、更には小湯ため池を水源としてそれぞれの区域にかんがいているが、近年、農業を営む上で必要となる水路、排水路、各施設などの必要性や農業水利管理者である土地改良区への関心も薄れつつあった。</p> <p>当地域ではカジカ蛙とホタルを守る活動と鑑賞会が長年行われていたが、水土里ネットとして水田、用水などの重要性を地域の方に理解してもらいたいと考え、理事長を中心に関係機関へ相談する中、地元の高島町立二井宿小学校から地域のことを学びたいとの要望もあり、双方の思いが一致し、平成28年度から小学生を対象に河川の水質調査や、たんぼの生き物調査、農業用水関係施設の役割説明などの活動を始めた。</p>			
<p>・運動の概要</p> <p>一連の活動は「水と緑の学校」と称し、5月の全校児童による田植えに始まり、8月に5・6年生を対象にした屋代川の生き物調査やため池・農業施設からの水の探検(施設めぐり)、9月に3・4・5年生による稲刈り、10月には稲こきなどを土地改良区役員が指導しながら実施している。水の探検では、米沢平野土地改良区からの協力も得て、小湯ため池から放出される農業用水が隣接する蛭沢ため池へ流入する仕組みなどの学習を通し、地域に流れる水の役割などの理解を深める場となっている。</p> <p>当地域は、多面的機能支払交付金の活動組織と連携して用水路の泥上げや草刈り等にも取り組んでおり、子供達だけでなく地域住民の理解も深まっている。</p>			
			
田植え体験		施設めぐり	